

単元名 よんで かんじた ことを はなそう

配当時間 8時間

単元の目標 (1) 身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすることができる。  
 (2) 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。  
 (3) 友達の考えや感想を知ろうとし、読んで感じたことを伝え合おうとする。

## 標準的な展開例

01010307\_001

【教材名】ずうっと、ずっと、大すきだよ

(下 P.106～P.117)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 学習の見通しをもつ。          ★お話を読んで感じたことを話そう。          ○ペットを飼っている児童に、ペットとの関わりを紹介してもらおう。          ○学習課題を確認する。</p> <p>2 お話を読んで感想を伝え合う。          ○教師の範読を聞く。</p> <p>○「いいな」「すきだな」「どうしてかな」など、心に残ったところを出し合う。          ○出し合った感想を基に、みんなで話し合いたいことを決め、これからの学習計画を立てる。</p> <p>3～4 話のあらましをつかむ。          ○エルフがどんな風が変わっていったかを確かめる。</p> <p>○主人公の「ぼく」が、エルフのことが大好きだと分かるところを見付ける。</p> <p>5～7 話し合いたいことについて、考えを出し合う。          ○学習計画に沿って話し合う。          (例) エルフが「せかいでいちばんすばらしい犬なのはどんなところでしょう。」          (例) 「ぼくは、なぜとなりの子にバスケットをあげたのでしょうか。」</p> <p>8 学習を振り返る。          ○教科書 (P.117) の「たいせつ」を確認して、学習を振り返る。</p>	<p>・教科書 (P.117) 「やくす」「やくしゃ」について知らせる。          ・心に残ったところに線を引かせてもよい。</p> <p>【評】 感想を話し合う活動を通して、読んで感じたことを伝え合おうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・挿絵をもとに考えさせるとよい。          【評】 話のあらましをつかむ活動を通して、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する「思考・判断・表現」を評価する。          【評】 話のあらましをつかむ活動を通して、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする「知識・技能」を評価する。</p> <p>・第2時にみんなで決めた話し合いたいことについて考えを出させる。          【評】 話し合い活動を通して、文章を読んで感じたことや分かったことを共有する「思考・判断・表現」を評価する。          【評】 話し合い活動を通して、身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使う「知識・技能」を評価する。</p> <p>・今後の読書生活に生かしていくとよい。</p>

【 備 考 】